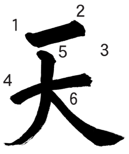
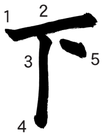
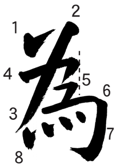
ポイント解説（担当：笹嶋健人）



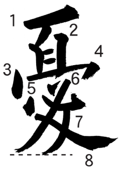
1、45度の角度で弾力をつける
2、長さに注意し太く右上りに
3、少し間をあけて広がりを
4、山なりに同じ角度で
5、左側より太く入り倒しすぎぬ様に注意
6、5と同じ高さまで送筆し鋭く払う



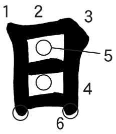
1、45度の角度で鋭く入る
2、筆管の角度は変えずに送筆
3、中心左より強く入る
4、腕を引いて垂直に柔らかく
5、上部に位置見て線を引く様に太く



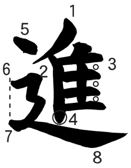
1、高い位置に縦につき次へ
2、1を受け筆管を起こす
3、直線的に鋭く払う
4、位置見て右上りに左長く
5、転折は4の下に小さく
6、平行に大きく張り出す
7、十分に長く加圧し太く
8、上部にリズム良く打つ



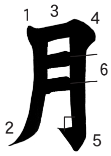
1、高い位置に加圧し強く
2、幅取りすぎず細身に
3、倒れすぎず縦に打つ
4、細く鋭く送筆し張り出す
5、リズムをつけて穂先で
6、直線的に腕を引いて鋭く
7、終筆位置そろえて短く払う
8、一度止め真横へ払い出す



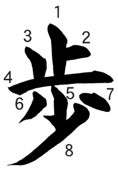
1、縦につき深く沈める
2、細くしすぎずに右上りに
3、しっかりと一度止め再度筆を起こす
4、内に入らぬ様に垂直に
5、上での空間が等しくなる
6、少し出る様に



1、斜めに倒れすぎないで
2、1との接点を良く見て
3、長さ、空きを均等に配置
4、下はしっかりと出す
5、高さ、位置、角度を見て
6、穂先の弾力を活かして
7、6との関係を見て越えない
8、上部は直線で長く払う

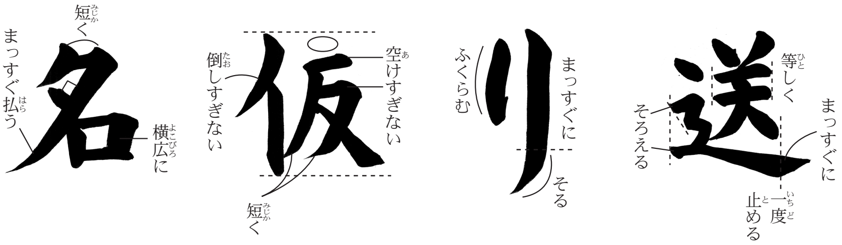


1、深く沈み込み垂直に送筆
2、終筆近くだけ少しそる
3、幅を取りすぎぬ様に
4、力入れ太く折り筆を起こす
5、筆管の角度を変えずに腕を引いてまっすぐに
6、上部にあつめ均等な幅で



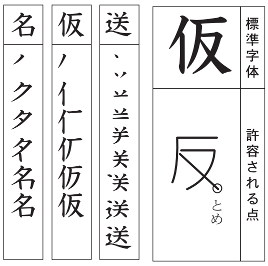
1、中心に強く入り終筆は軽く
2、押し出す様に強く
3、1と離れすぎぬ様に
4、十分に長く山なりにする
5、1の真下より短目に
6、3の下より丁寧に払う
7、少し離れた位置に太く打つ
8、直線的に45度の角度で払う

〈払い出す方向を見て！〉

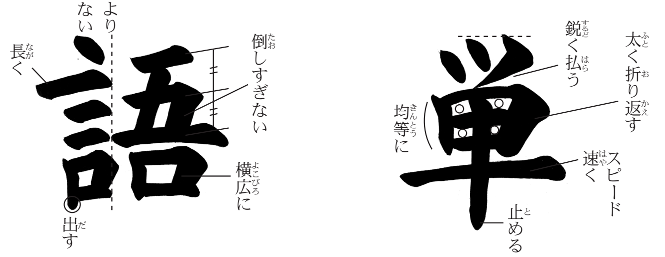

等しく
まっすぐに
そろえる
一度止める
まっすぐに
そる
ふくらむ
空けすぎない
倒しすぎない
短く
横広に
まっすぐ払う
短く

「送り仮名」

漢字を書く時は、送り仮名も注意しよう！

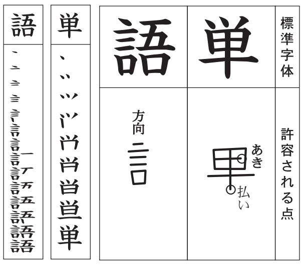

標準字体
許容される点
仮
とめ
送
仮
名

〈長さ・位置を良く見よう！〉

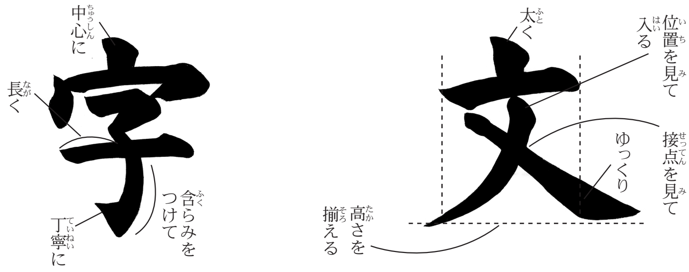

太く折り返す
鋭く払う
均等に
スピード速く
止める
線より出ない
長く
倒しすぎない
横広に
出す

「単語」

日本語には多くの単語がある。日々使わない言葉も多いね。

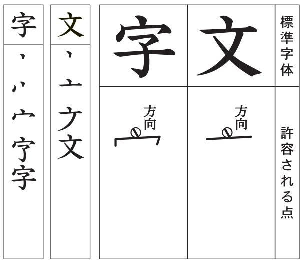

標準字体
単
語
許容される点
あき
払い
方向
単
語

〈筆の弾力をつかおう！〉

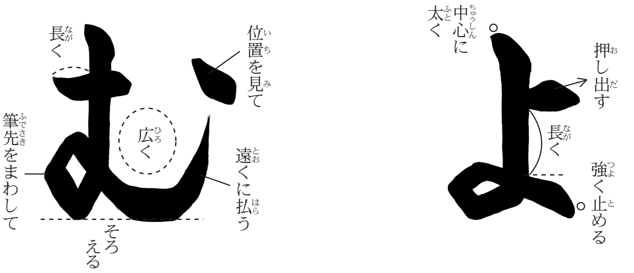

位置を見て入る
太く
接点を見て
ゆっくり
高さを揃える
中心に
長く
含らみをつけて
丁寧に

「文字」

書道できれいな文字を手に入れよう！

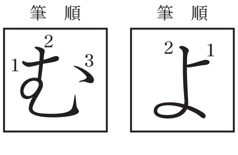

標準字体
文
字
許容される点
方向
方向
文
字

〈筆先をつかおう！〉

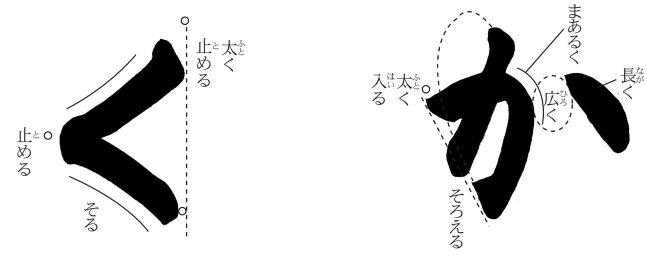

中心に太く
押し出す
長く
強く止める
位置を見て
長く
広く
筆先をまわして
遠くに払う
そろえる

「よむ」

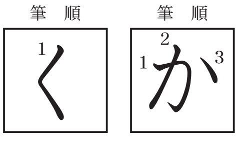
毎日本を読むことで理解力がつく。いっぱい本を読んでみよう！



〈起筆を太く止めも太く！〉


まあるく
長く
太く入る
広く
そろえる
太く止める
止める
そる

「かく」

ノートにきれいな字を書けるように練習をいっぱい頑張ろう！